

もりの手紙

mo ri no te ga mi

森にこうよ!
もりメイト倶楽部
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

fax. 082-221-1080

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com

4
Apr

NO 297 / 2022

コロナ禍の中、
大切な命を守り
出来る時に
出来る事を!

Contents

★4月例会案内

≪4月24日 第4日曜≫

「黄金山桜救出大作戦」

..... 2

★3月例会報告：富田

「尾長天満宮鎮守の杜整備」

..... 3

★部会報告

・クラフト部会：佐藤

・里山部会：岩田

..... 4

★報告「森の学校@安佐」：松崎

・環研部会：佐々木

..... 5

★シリーズクラブ創立25年によせて

クラフト部会の成り立ち

..... 6

★未来へつなげ命の環：山本

・TV放映のお知らせ

今月のひと枝：セイヨウハシバミ

..... 7

★4月・各部の活動予定

・年会費納入のお願い

..... 8



広島駅新幹線口から徒歩15分。二葉山の麓、歴史ある「尾長天満宮・鎮守の杜」での例会。朝のミーティングを終え、渡辺宮司によりこの日の作業の安全祈願が行われた。(P3にて報告)

私たちが 森づくりを応援しています。

- ◆イオン幸せの黄色いシートキャンペーン
- ◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社東和テクノロジー ◆こだまクリニック
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆一般財団法人セブン-イレブン記念

〈ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略〉

もりメイト倶楽部
HIROSHIMA

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり：健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く：森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ：人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える：恵みを利活用し、拡げる活動。

例会

倶楽部のメイン行事（原則第4日曜日）
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は1997年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています！

全国林業普及協会会長賞、広島ユネスコ活動奨励賞、広島県知事賞、広島市「ひろしま街づくりデザイン賞」その他受賞歴多数。



2022年4月地域貢献プロジェクト例会【担当2班】

昨年7月予定は雨で中止、今年2月はコロナで中止・・・

黄金山桜救出大作戦三度(みたび)！！

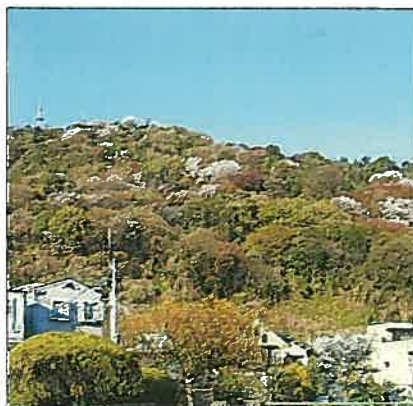
～～黄金山南側斜面の山桜を救おう！～～

協力：楠那学区公衆衛生推進協議会

- ◆日 時： 4月24日(日曜) 9時～少雨決行
※当日のリーダー、2班のメンバーは準備のため8時現場集合
- ◆会 場：^{くすな}楠那公民館 (※乗り合わせの協力をお願いします。)
※ 広島市南区楠那町7番10号(南区スポーツセンター裏)
- ◆持参物： 山の道具・弁当・飲み物・名札
※急斜面なので、スパイク付きなど滑り止めの装備があるとベストです。
- ◆申込み： 4月18日(月)までに各班長へ連絡。
※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は
下記へ電話かメールにてご連絡下さい。
090-6419-7531 : info@morimate-ch.com



黄金山ならではの海を臨む作業地。



山の中腹には何本もの大きな大きなヤマザクラがあります。



黄金山南側斜面には、たくさんの山桜が自生しています。中には数人で抱えるほどの大きな木もあります。しかし、周囲の樹木が大きくなり山桜の樹勢がかなり衰えてきています。

もりメイト倶楽部は2008年から地元の要請を受け整備に入っており、南側斜面の整備は2018年以来(写真)の作業となります。しかしながら、昨年7月に予定していた当地での例会は、準備万端整えながらも雨のため中止となりました。皆さん、今回こそ山桜の為に一肌脱ぎませんか？

5月例会は、昨年8月に災害支援で訪れた北広島町「ゆとりの森」で行う予定です。ぜひご参加を。



春の日差しを浴びて総勢 54 名が、それぞれの作業に汗し、歴史ある鎮守の杜を守りました！

尾長天満宮の鎮守の杜の整備は、コロナ禍で2年間延期していましたが、倶楽部員、地元の皆さん他、大勢の参加を得て無事に終了。延期になっていた久々の例会に汗を流しました。

開催に先立ち、天満宮の「安全祈願祭」を渡辺宮司に取り計らって頂き、山本理事長を初め、倶楽部代表2名の玉串奉奠を行い全員で安全祈願をしました。

今回の整備計画は、鎮守の杜全体の景観整備を目的とし、4つのグループに分かれて作業を実施しました。

Aグループは、コナラ(40cm~50cm)大径木、支障木の伐採。周辺の支障木処理や対象木が民家に接近しており、チルホール牽引での安全対策を充分に行い、ベテラン倶楽部員7名が作業に当たりました。

Bグループは、猪に荒らされた参道補修に取り組みました。材の調達に周辺の支障木を伐倒し枕木・杭を作りながら、新会員3名・地元応援者2名が加わり、2本ある参道を修復完了。歩きやすくなったと二重丸の評価を受けました。

Cグループは、北側の竹藪整備を担当。隣接する学校側に、竹が境界線を越えて倒れ込むなど、藪化して大変な作業で苦戦を強いられましたが、境界線上の竹を除去し、全面の藪化した笹竹と残す竹を選別しながら整備をすすめました。

Dグループは、石垣上部の景観を損ねている支障木の整備。高い場所での作業になる為、転落防止・安全作業を心掛けながら、萌芽した枝葉や雑木が生い茂ったエリアを整備し、綺麗な景観を取り戻しました。子ども達からは「モット木を切りたい、ここの木を切ってもよいですか？」などと、興味をそそる声が聞かれ頼もしく感じました。

前回開催から2年間が空いたことで雑木の茂り方は半端なく、作業負荷は大きくなり改めて継続した取り組みの大切さを痛感しました。閉会時、新会員からは、『諸先輩から優しくアドバイスをいただいた』『育成講座で習った事が十分発揮できなかった、次回に活かしたい』などの感想がありました。

最後に、天満宮様のご厚意で、美味しいカレー、おむすび、果物、コーヒーまで頂戴でき裏方で調理した下さった皆様へ感謝を申し上げます。ありがとうございました。

また、先輩方の元気な笑顔やお姿を拝見でき嬉しく思うと共に、楽しく集え、学べる例会となるよう努めてまいります。次回も是非ご参加下さい。



ロープ掛け、チルホール操作の連携で支障木を伐倒。



材の調達に手間取りつつも、参道の補修完了



この日参加したもりメイト倶楽部女子の面々



ぎっしりと生え 藪化した竹藪を整備。



雑木が茂りうっそうと！子ども達ががんばる！



ほっと一息、昼食タイム。境内の梅もきれい。



★3月部会は鹿ヶ谷基地の里山のコバノミツバツツジなど木々芽吹く季節になる中、クラフト部材の製作と間伐材の製材を行いました。昨年8月の山本地区の土石流災害対策として、鹿ヶ谷基地の近くに砂防堰堤を設ける計画が実施されることになりました。クラフト部の活動が制約される様ですが、なんとか立ち退きまでは至らず部員一同安堵しております。NPO 法人みどり会様が間伐され、砂防堰堤予定工事場所に集積している杉丸太材の片付けを兼ねて貰い受けして丸太の製材と、「もりメイトキッズ」松ヶ原の環研部会活動により伐倒したリョウブの材を鹿ヶ谷作業基地に運搬し、じっくりと乾燥させクラフト材として活用する活動を行いました。4月は部員の好みによる・F1クラフト・鍬の柄・まな板・丸太の製材など行う予定です。木工趣味の部員の皆様一度覗いてください。電動カンナ機、電動鋸、ボール盤など道具は完備しております。



磯貝さん・本廣さん指導のもと丸太の製材の様子(佐藤・高杉)



F1製作に夢中の磯貝さんと試作品(右)。



里山部会を3月13日に開催しました。毎年、4月・8月に地域貢献で防火水槽に入る水路清掃・草刈りをしていますが、1月に続き今回も水路に水が流れていないのに気付き、比較的元気な5名で水路開通のため山に入りました。残りの部隊は、イノシシが荒らした道路の補修工事、

スクウスクウの森から持ち帰った枯れ松で作ったテーブルの補修を行い、午前中で作業終了。

いつもより、早目の食事時間でしたが、いろいろな話で盛り上がり、比較的ゆったりとした時間を過ごすことができました。また、宮本さん提供の蒲刈島の紅八朔を食後にいただき、小川Fのオーナーの1人でもある、永野さんからお土産の大根をいただき、令和3年度の里山部会は無事終了しました。参加人員10名。今年度は、6月と令和4年2月に「広島県まん延防止等重点措置」がとられたため、2度に渡り自粛中止と致しましたが、10回の部会開催で延べ155名の参加があり、事故・怪我もなく無事に終わることができました事に感謝申し上げます。来年度も、引き続き里山部会をよろしくお願い致します。次回4月10日(日)は、安佐北区白木秋山のスクウスクウの森で、ナラ枯れの処理を予定していますが、その前に、小川フィールドで、地域貢献の水路清掃・防火水槽周りの草刈りを行います。こちらは、7時50分小川フィールドの駐車場に集合、他の参加者は、スクウスクウの森の駐車場に9時集合です。また、当日は滅多に見る機会がないお寺(妙國寺)の屋根修復を見学の予定です。妙國寺ご住職からメールを頂いています。

妙國寺本堂屋根一部修復について

妙國寺住職 斯波徹真



『屋根瓦崩落事故が予見される状況を見逃すわけにいかず、多方面から種々の議論を尽くした結果、寺屋根専門業者(広島県内ではこの一社のみ、広島別院の推薦や狩野家の順正寺、向原の長圓寺、等の葺き替え工事実績あり)から見積もりを提示いただき工事を実施することに決めました。工事の進捗状況はフェイスブック『TooruSiba』・ツイッター『拯済の森』で随時配信いたします。』

たぐいまれな本堂の屋根修復見学の機会です。里山部会の活動日に合わせ4月10日に実施されます。14時から1時間程度の予定です。



次回4月10日(日)は、安佐北区白木秋山のスクウスクウの森で、ナラ枯れの処理を予定していますが、その前に、小川フィールドで、地域貢献の水路清掃・防火水槽周りの草刈りを行います。こちらは、7時50分小川フィールドの駐車場に集合、他の参加者は、スクウスクウの森の駐車場に9時集合です。また、当日は滅多に見る機会がないお寺(妙國寺)の屋根修復を見学の予定です。妙國寺ご住職からメールを頂いています。

「もりメイト倶楽部プロジェクト」 「森の学校 @ 安佐」

3月20日(日)ひろしま市民の里 @ 安佐

報告：3班 松崎 友輔



森がいかに大切か、森の働きについて学ぶ

= 自然観察(はる見つけ)&竹林整備&竹クラフト =

今回、森の学校に講師として参加させていただきました。

午前開校式をした後2つのグループに別れて周辺の木々や草花の自然観察。その後3つのグループに別れて竹林の中に入り竹の伐倒を行い、午後からは午前中に自分たちで切った竹を使ってのクラフト作業、といった流れで進行していきました。午前中の自然観察や竹林での作業など、五感で感じながらの授業は子どもたちはもちろん大人の方々も真剣な眼差しで講師の話を聞いておられました。午後

からのクラフトでは参加者の方々がとても積極的に工作されており親子で意見を交わしたり講師と相談したりと試行錯誤して作品づくりに励まれておりとても活気のある時間となりました。こういった光景を見てみると今回の「森の学校」のように、体験しながら自然環境について学べる場があるというのはとても重要な事だと感じました。

また指導する側としての学びもあり、言葉や文字だけでなく実物や絵などを用いて説明することにより短時間の説明であっても受け手が理解しやすくなるということも学ぶことができました。

今後の活動に活かせるとても有意義な一日になりました。(当日は親子参加 32名、もりメイト倶楽部スタッフ7名)



竹林整備のようす。伐り方を指導する吉村さん



竹ポックリを作ったよ!



お父さんと一緒に竹を切る。右スタッフは松崎さん。

報告



環境教育研究部会

部会長 佐々木綾子

2022年になって初めてのカンケン部会は、もりメイトキッズのフィールドである大竹の松が原にて今年度のキッズをどの様に進めるかの方向性をみんな考え、また、今まで中々手を付けられなかった場所の整備を行いました。

自然に関する環境の知識を学び、森に入って整備をし、そして森の資源(恵み)を使う中で人材を育て、ともに育ち合うという環境部会の思いを、今一度確認しながら、フィールドを散策しました。

午後からは、朽ちてしまった舞台の床の撤去や、壊れてしまった道中の床材の整備などを行いました。今後は月1回、松が原フィールドで手入れを行いながら、今年度のキッズの内容を充実させていきたいと思ひます。



フィールドを探索しながらもりメイトキッズのプログラムを考える



朽ちた舞台床撤去の様子

今年度も応援
頼みます!



～倶楽部創立 25 年によせて～

<その2：クラフト部会の成り立ち>

倶楽部創立 20 周年記念誌から抜粋

クラフト部会は、例会その他の部会活動で生じた材を有効利用することを目的としています。森林の重要性と現状を世の中に伝えるツールとして、今やなくてはならない存在です。倶楽部内での活動はもちろん、外部からの要請を受け、製作・指導を行っています。佐藤部会長は 4 代目の部会長。

【部会発足の経緯：2003 年スタート！】

もりメイト倶楽部が発足してまもなく、例会で間伐、下草刈り、里山整備と作業をこなしている合間に、木の蔓でカゴを編んだり、小枝のついたヒノキの皮を剥いて乾燥させて白木ツリーにしたり、作業で出た材料を利用したりとクラフト工作が楽しみになってきた。そんな中「間伐部会」、「里山部会」と目的を持った部会活動がはじまり、クラフトについても「ただ山で作業をするだけでなく自然の物を活用して作る」また、そのために人々が集まることも含めて活動していこう、という事で平成 15 年(2003 年)に「クラフト部会」はスタートした。

部会として最初の活動は平成 15 年 10 月 25 日に白木町北田城跡で開催された森の音楽会。その時に演奏していただいた広島市立舟入高校ブラスバンド部の皆さんにお礼として「状差し」を作り贈呈することから始まる。



北田城にて開催の森のコンサートで演奏する舟入高校吹奏楽部のお土産「状差し」づくりに励む。2003 年

【クラフト部会 活動の広がり】

まず、施設やイベント等の視察から始まり、平成 16 年広島市環境局中工場のエコ祭り、平成 17 年島根県邑南町の香木の森公園、平成 18 年三次市のウッドピアなど研修場所も拡大、少しずつ出向いて指導もする様になって行った。平成 22 年に美鈴が丘工房に拠点を移し、最初はノコ、小刀、接着剤、グルーガンなど小さな工具を使っていたが、徐々に大きな工具も揃えられるようになり、扱う材も大きなものが加工できるようになっていった。平成 19 年からは環境教育研究部会が発足し、自主事業である「子ども森林ボランティア養成講座もりメイトキッズ」が開催されるようになると、クラフト作りの指導を担い、現在まで連携協力をしている。



千支シリーズは今も大人気！（酉）

平成 25 年「一般財団法人セブン-イレブン記念財団」の助成を受けエンジン式移動製材機を購入、機械も増えてきた。丸太運搬通路の確保、広い作業場所確保のため手狭になった作業場所を移転することになった。平成 28 年 1 月から製材機は湯来町麦谷の松波邸敷地へ、主要活動場所は安佐南区祇園山本町鹿ヶ谷の NPO 法人里山環境保全みどり会所有地へ移転した。

【達成感 & 満足感は子ども達の笑顔から】

子供たちの喜ぶ顔、ノコや金槌、ナイフを使ったことのない子供たちに教え、道具の使い方など技術向上と同時に、間伐材クラフトを通して森を知るきっかけになっている満足感！！

出来上がった作品を見て喜ぶ子供たちや家族の笑顔、持ち帰りができる喜び、指導する方も喜びを受け取る。間伐利用は森の重要性を伝える手段。使命を果たす役割を担う達成感！！

【歴代部会長 初代：山田正延 2代：磯貝定教 3代：本廣良一】

～～「20 年の歩みとこれから」20 周年記念誌より～～



子ども達の笑顔がエネルギー源。もりメイトキッズにて



未来へつなげ命の環

報告： 理事長 山本恵由美

広島県では平成 25 年 3 月に「未来へつなげ命の輪！ 広島プラン—生物多様性広島戦略—」を策定しました。

絶滅危惧生物をはじめとして、県内の各地域で生物多様性保全の取り組みをさらに推進するため、今年の 2 月 23 日に、講演会とそれらの関わる 4 団体のパネルディスカッションが行われました。

まず中越信和広島大学名誉教授が「生物多様性の現況とその保全」について講演され『これから団体で出来る保全』では、危機感の共有をはじめ、絶滅危惧種の情報の適切な管理のため、責任ある存在である団体の認証や存続基盤の確保、保全団体の支援、また種の保存から「生態系の保全（景観）」へ意識転換をする必要がある』と説

かれました。

もりメイト倶楽部としては、『具体的に希少生物となったヒョウモンモドキ、ギフチョウ、ミヤジマトンボ、オムラサキなどの保護活動の紹介に加え、水や酸素を育み命の源となる森の課題解決を行う活動がすなわち、生物多様性の保全につながっていること。そしてもりメイトキッズなど子どものうちから環境教育の必要性から、多くの啓発事業を展開していること』を発表。

全体では『県民の皆さんが自分事として理解して、当事者意識を持ってもらいたい』という認識を共有しました。反響も大きく、新たな気づきのお礼や応援の言葉もいただきました。感謝。



～テレビ放映のお知らせ～

昨年 11 月、北広島町で開催された【中国電力 70 周年記念森林イベント】の企画・運営にもりメイト倶楽部が関わり活動に参加しました。これまでも何度か放映されましたが、3 月 19 日に TV 放映されたものが下記の Youtube にて 2022 年 6 月末まで閲覧可能です。

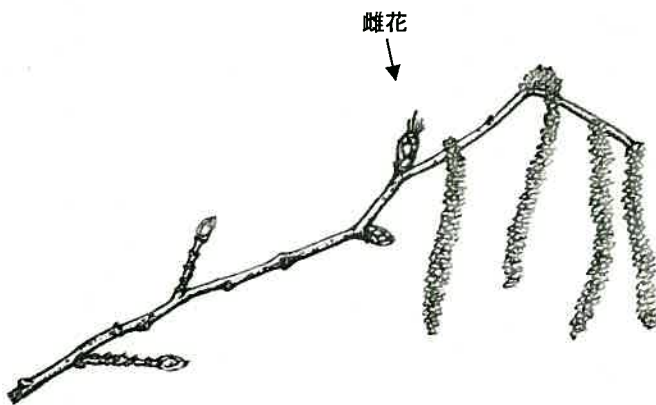
■「地域応援プロジェクト年度末 S P」Youtube URL (限定公開)

<https://www.youtube.com/watch?v=wwDr9NKL4tQ>

※尚、森林イベントパート(紹介)は、番組中 24 分 46 秒～33 分 30 秒の間です。是非ご覧ください。

今あるひと枝

原田 澄



セイヨウハシバミ(西洋榛)

<カバノキ科・ハシバミ属>

ヨーロッパ原産の落葉低木。果実は「ヘーゼルナッツ」。日本では稀に植栽される。葉は、互生し長さ 5~12 cm、幅 4~12 cm の卵形~広楕円形で、重鋸歯を持つ。雌雄同株で早春、葉の展開に先立ち、同じ木に雄花と雌花が別々に付く。雌花は芽鱗に包まれたまま開花するので、赤い柱頭だけが外にのび出て目立つ。雄花は長さ 3~7 釐、柄はなく、前年枝から尾状に垂れ下がる。果実は秋にかけて熟し、ドングリのように自然落下する。日本には近縁種のハシバミ、ツノハシバミが自生し、共に食用となる。・・・
▼友人から「花が咲いたので描いてみる？」と示されたのはセイヨウハシバミ。炎が揺らいでいるような真っ赤な雌花が実に愛おしい。▼何日かすると葉が開いてきた。木々の葉は、芽吹いた時から姿を変えずそのままの形で大きくなる。▼今、自然界は春の息吹で満ち満ちる。遠いウクライナの戦禍の下にも来たれ春。祈る平和！~2020 年 3 月湯来町にて~



—4月— 活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください

小川フィールドでは、水路清掃
防火水槽の草刈りを行います。
スクウスクウの森では、枯れ木の伐倒
作業を行い、妙国寺本堂の修復工事
の見学会を行います。二手に分かれての開催です。

里山部会

～自家木工・クラフト趣味の方、自由に参加お待ちしております～

- 日時：4月10日(第2日曜)
- 場所：「小川フィールド」：7時50分集合
「スクウスクウの森」：9時集合
- 持参品：水筒・山の道具
- 連絡先：岩田 080-5751-3798

■4月は2日・9日・16日・23・30日の土曜日

■連絡先：佐藤 090-1682-6305
satoken069@yahoo.co.jp

クラフト部会

11日(月) 令和4年度のもりメイトキッズの打合せを行います。また16日(土) 10時より大竹市の松が原キッズフィールドにて整備を行います。子どもたちの自然体験教育の事業に興味のある方、どなたでもご参加下さい。

■日時：4月11日(月) 18時30分～

■場所：袋町交流プラザ

■連絡先：佐々木

mamakin0404@yahoo.co.jp

環研部会

5月号の会報発送作業は下記の通り、実施します。

■日時：4月28日(木) 18:00～20:00

■場所：袋町市民交流プラザ3F

ゴールデンウィークを迎えます。早めの発送にご協力下さい。よろしくお願いいたします。

年会費納入のお願い

4月から新年度に入りました。

会を運営していく中で、皆さんの会費が大きな支えとなっております。

個人年会費は3,000円、振込先は下記の通りです。どうかよろしくお願い致します。

なお、会報を郵送する際、郵便振替用紙を同封させていただきますのでご利用下さい。

会員 & ご寄付の募集

もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類

【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。

【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

【個人会費】：3,000円

【企業会費】：50,000円

お申込み方法

下記まで電話、又はメールで

【電話】090-6419-7531

【Email】info@morimate-ch.com

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3283383

【ゆうちょ銀行】15170-18029291

《口座名：特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》